

会議記録（要点筆記）																																																			
委員会名		秦野市子ども・子育て会議(平成30年度第1回)																																																	
日時	平成31年2月12日（火） 14：00～16：00	場所	秦野市役所本庁舎3階 講堂																																																
出席者	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">[委員氏名]</td> <td style="text-align: center;">[所属団体等]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林 正稔</td> <td>：</td> <td>神奈川県立保健福祉大学教授（会長）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林 徳博</td> <td>：</td> <td>元・二宮町教育委員、元・小学校長（副会長）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大澤 一之</td> <td>：</td> <td>民間幼稚園長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>香川 園美</td> <td>：</td> <td>秦野市民間保育園主任の会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>草山 充</td> <td>：</td> <td>秦野市私立保育園園長会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐々木 陽一</td> <td>：</td> <td>株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>清水 幸代</td> <td>：</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈴木 泉</td> <td>：</td> <td>神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>関野 祐太郎</td> <td>：</td> <td>秦野市PTA連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>府川 優樹</td> <td>：</td> <td>秦野市学童保育連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>矢野 博子</td> <td>：</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]			小林 正稔	：	神奈川県立保健福祉大学教授（会長）		小林 徳博	：	元・二宮町教育委員、元・小学校長（副会長）		大澤 一之	：	民間幼稚園長		香川 園美	：	秦野市民間保育園主任の会		草山 充	：	秦野市私立保育園園長会		佐々木 陽一	：	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント		清水 幸代	：	市民委員		鈴木 泉	：	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長		関野 祐太郎	：	秦野市PTA連絡協議会		府川 優樹	：	秦野市学童保育連絡協議会		矢野 博子	：	市民委員	
[委員氏名]	[所属団体等]																																																		
小林 正稔	：	神奈川県立保健福祉大学教授（会長）																																																	
小林 徳博	：	元・二宮町教育委員、元・小学校長（副会長）																																																	
大澤 一之	：	民間幼稚園長																																																	
香川 園美	：	秦野市民間保育園主任の会																																																	
草山 充	：	秦野市私立保育園園長会																																																	
佐々木 陽一	：	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント																																																	
清水 幸代	：	市民委員																																																	
鈴木 泉	：	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長																																																	
関野 祐太郎	：	秦野市PTA連絡協議会																																																	
府川 優樹	：	秦野市学童保育連絡協議会																																																	
矢野 博子	：	市民委員																																																	
欠席者	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">[委員氏名]</td> <td style="text-align: center;">[所属団体等]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内藤 剛彦</td> <td>：</td> <td>秦野伊勢原医師会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>串田 祐基</td> <td>：</td> <td>地域型保育事業者</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]			内藤 剛彦	：	秦野伊勢原医師会		串田 祐基	：	地域型保育事業者																																					
[委員氏名]	[所属団体等]																																																		
内藤 剛彦	：	秦野伊勢原医師会																																																	
串田 祐基	：	地域型保育事業者																																																	
[事務局] こども健康部 子育て支援課長 保育こども園課長 子育て若者相談課長 教育部 教育総務課長 [その他] こども健康部長		[庶務担当（こども健康部子育て支援課）] 課長代理 主任主事																																																	

議事内容	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 こども健康部長挨拶 4 委員紹介・事務局職員紹介 5 正副会長選任 6 議 事 (1) 特定教育・保育施設の利用定員について (2) 「秦野市子ども・子育て支援事業計画」の平成29年度実施状況について (3) 第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査の実施について (4) その他 6 閉 会
配付資料	次第 委員名簿 資料1：認定こども園の概要 資料2：平成29年度「秦野市子ども・子育て支援事業計画」に係る具体的支援策等実施状況報告書 資料3：第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査の実施について

[1 開会]

○事務局

(13名の委員のうち11名の出席があったため、秦野市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告)

[2 委嘱状の交付]

[3 こども健康部長挨拶]

[4 委員紹介・事務局職員紹介]

[5 正副会長選任]

[6 議事]

(1) 特定教育・保育施設の利用定員について

○事務局

(「資料1」に基づいて説明)

○委員

既に、確保すべき量を充たしていると考えるが、なぜ新規開園をするのか。

○事務局

計画では平成31年度までにあと160名の利用定員を増やす必要があるため、開園するものです。平成31年度4月入所の申込みは昨年度より70名程度増えており、子どもの数が減少する中でも、保育所の申込者数は増加傾向にあります。

○委員

平成31年4月時点で定員割れをする園も出てくるのではないかと、新規園についても運営が成り立たないのではないだろうか。

○事務局

確かに新規園は4、5歳児クラスの申込みが少なく、定員割れとなる傾向があります。しかし、今年度も待機児童が発生している状況ですので、必要と考えています。

○委員

新規園の開園場所は、保育所の開園希望が多い地域と一致していないと思われる。次々と開園すればいいというものではないと考える。

○事務局

今後、地域等もよく検討したうえで整備を進めていきます。

○委員

現在、みなみがおか幼稚園を利用している4歳児クラスの園児の来年度の進級状況はどのようになっているか。

○事務局

現在4歳児クラスは21名の在席があり、平成31年度の5歳児クラスは21名の利用予定となっております。

○委員

公立から私立になるということでのよいのか。その場合の保育料に変更はあるのか。

○事務局

そのとおりです。保育料についても公立幼稚園とは異なる、市が定める民間こども園の保育料に変更となります。

○委員

小学校との連携、PTA活動、育む会の存続はどのようになるのか。

○事務局

幼小中の連携は今後も継続していきます。育む会についても参加をお願いしておりますが、PTA活動は一度白紙とすると聞いています。

○委員

幼小中の連携は公立に限られるものではなく民間でも同じことであるとするが。

○事務局

もちろんそのとおりです。ただ、今回は公私連携として協定の中でお願いしているということです。

○委員

協定書は公開しないのか。

○事務局

検討します。

○会長

当法人は高齢者施設運営の実績があることは承知しているが、保育所の運営経験はあるのか。

○事務局

平塚市で4つの保育所、大磯町でこども園の運営実績があります。

○委員

当法人は次々と開園を続けているが、既存の園へも影響がでると考えられるため、特定の法人ばかりにお願いするのはどうかと考える。

○事務局

選定に当たっては外部委員で構成する選定委員会を組織し、プレゼンテーション、面接、当法人が既に運営している保育所等の現地確認をきちんと行ったうえで、決定しています。

○会長

保育士の確保、質の確保は、市としてどのように担保していくと考えているのか。

○事務局

4月から運営するこども園の保育士が、既にみなみがおか幼稚園で引継ぎ保育を実施しているところです。

○委員

みなみがおか幼稚園の職員が新規こども園に出向することはできないのか。

○事務局

現在の職員は秦野市の幼稚園教諭で地方公務員ですので、規定上難しいと考えています。

○委員

保育士15名とあるが、保育士の経験等は把握しているのか。また、協定期間は何年間で、指揮監督権はどの程度あるのか。

○事務局

保育士15名の経験等については把握していきたいと思います。協定年数については15年となっています。必要に応じて報告、聴取、立ち入り検査もできることとしており、定期監査と合わせて、確認をしていきたいと考えています。

○委員

現在、この地域では保育士を募集しても応募がないのが現状であり、よほど市が介入しないと保育士の確保は困難であり、質の確保はさらに難しい課題となっていると

考える。

○事務局

保育の質の確保のために園との連携をしっかりと行い、保育の実態を把握し、必要に応じて現地の確認や保護者の意見等も聴きながら確認をしたいと考えています。

○会長

市が責任を持って指導監督していただきたい。

(2) 秦野市子ども・子育て支援事業計画の平成29年度実施状況について

○事務局

（「資料2」に基づいて説明）

○委員

教育・保育の質の向上とあるが研修の実施、研修情報の提供のみとなっている。数字に表れないものもしっかりと実施してほしい。また、一時預かり事業については、できていないから目標を下げるというものではないと考える。

○事務局

今後も講師をお招きして、民間保育所の皆様にも参加いただける、研修の実施に努めていきたいと考えています。また、一時預かり事業については、計画値が過大であった部分もあり、目標値を修正したが、やはり一時預かり事業に保育士を配置できない現状がありました。園も1園増えるので引続き確保に努めていきます。

○委員

小児医療費助成事業について、中学生までの負担金導入を検討とあるがもう確定でよいのか。また金額が大きく増加しているが、問題はないのか。必要がないのにすぐに受診するケースが増えるのではないか。

○事務局

確定しています。中学生まで対象とする自治体が増えてきており必要と考えています。必要がないのに受診するケースは考えられますが、早めに受診することで重症化の予防にもなると考えています。

○委員

平成29年度は実績が見込みを大きく超過しているが予算を補正したのか。

○事務局

当初予算で執行しました。

○会長

研修については、研修に参加して理解し実践につなげるのは難しいことである。それよりも現地にアドバイスをできるOB等をボランティア派遣するほうが効果的である。是非検討いただきたい。

(3) 第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査の実施について

○事務局

（「資料3」に基づいて説明）

○委員

アンケートで保育園への要望等はできるのか。そういう場が必要と思うが。

○事務局

自由意見の記入ができるので、そこに気になるものがあれば、対応できるものは対応していきます。

○委員

アンケートの回収率はどうか。年末年始に行ったことで回答率が下がったのはいか。

○事務局

前回は約40%であり、他市の実施結果や類似調査の結果からも一般的な回収率と考えています。

○委員

ここでいう地域とはどういう考えか。

○事務局

本町、南、東、北、西、大根鶴巻、上といった地区を考えています。

○委員

今回のアンケートで秦野の事情等を勘案した見込みまで算出するのか。

○事務局

アンケートは、単純な利用希望等をお伺いするものであり、集計された結果に実績や地域の実情等を勘案して数字に補正を加えていきます。

○会長

前回の計画策定においても何度も数値の補正を行った。事業によって国の所管省庁も異なるので、担当課が情報を集め、ニーズ調査の結果をよく分析し、できる限り整理してほしいと考えます。

(4) その他

○事務局

次の開催日程については、ニーズ調査の結果が年度内に出ますので、新年度の早い段階での開催を考えています。よろしくお願ひします。

[7 閉会]